

## 県内の患者数

矢印は、前週の数に対して 増加 減少 横ばい を表しています。

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↑ 2	0	百日咳	↑ 2	0
RSウイルス感染症	↓ 21	34	ヘルパンギーナ	↓ 10	22
咽頭結膜熱	↓ 5	11	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	↓ 47	94
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	↑ 64	59	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↓ 169	197	流行性角結膜炎 (はやり目)	↓ 9	11
水痘	↑ 51	45	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	→ 24	24	無菌性髄膜炎	↑ 2	1
伝染性紅斑 (りんご病)	↑ 5	4	マイコプラズマ肺炎	→ 5	5
突発性発しん	→ 36	36	クラミジア肺炎	→ 0	0

報告が多い  
感染症

- 感染性胃腸炎
- A群溶血性連鎖球菌咽頭炎
- 水痘

- 感染性胃腸炎は、報告数 169件(前週報告数 197件)と減少。地区別では、宇城、人吉、有明に多く報告がみられる。年齢別では、10～14歳の24件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は、報告数 64件(前週報告数 59件)と増加。地区別では、天草、菊池、熊本に多く報告がみられる。年齢別では、4歳の12件を最多に幅広い年齢層からの報告である。
- 水痘は、報告数 51件(前週報告数 45件)と増加。地区別では、菊池、人吉、熊本に多く報告がみられる。年齢別では、4歳の10件を最多に、8歳以下からの報告である。

## ◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	0	11	2	31	36	23	13	2	10	0	4	22		7		2	5	
山鹿保健所	0	0	0	0	3	0	1	0	3	0	0	0	*	*				
菊池保健所	0	5	0	8	24	12	2	0	5	1	1	5		1				
阿蘇保健所	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	*	*				
御船保健所	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	*	*				
八代保健所	0	2	0	4	9	2	3	0	5	0	0	0						
水俣保健所	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	4	*	*				
人吉保健所	0	0	0	1	22	8	0	0	2	0	2	4	*	*				
有明保健所	1	0	3	1	36	2	0	0	5	1	0	8		1				
宇城保健所	0	0	0	5	30	2	1	1	4	0	0	3						
天草保健所	0	0	0	14	5	1	4	2	1	0	3	1						
計	2	21	5	64	169	51	24	5	36	2	10	47	0	9	0	2	5	0

## ◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	
インフルエンザ	2											1										1
小児科定点年齢	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
RSウイルス感染症	21	7	4	6	4																	
咽頭結膜熱	5			2		1	1								1							
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	64		1	2	2	5	12	4	10	8	5	6	6		3							
感染性胃腸炎	169	1	15	22	22	12	16	14	6	10	8	9	24	5	5							
水痘	51	3	7	7	8	9	10	3	2	1	1											
手足口病	24	1	3	6	5	1	1	1		2		1	2	1								
伝染性紅斑	5		1			1			3													
突発性発しん	36		16	19	1																	
百日咳	2	2																				
ヘルパンギーナ	10		2	6	1		1															
流行性耳下腺炎	47			5	3	5	11	10	4	4		2	3									
眼科定点年齢区分	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	9													3	2	1	1			1		1
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	2			1		1																
マイコプラズマ肺炎	5		3	2																		
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生  
又は継続しつつある地域

ありませんでした。

### 水痘



水痘(すいとう)は「みずぼうそう」とも呼ばれ、「水痘帯状疱疹(すいとうたいじょうほうしん)ウイルス」によって起こる感染症です。今週は51件で、5歳以下からの報告が9割以上を占めています。発生には季節性があり、例年11月頃から多くなります。水をもった赤い発疹が、口の中や頭皮、更には陰部まで、全身に出ます。発疹は通常2～3日でピークとなりその後乾いて黒いかさぶたになります。すべての発疹がかさぶたになると、人にうつすことはなくなります。発疹はかゆみを伴いますので、ひっかいてかさかさしないよう爪は短くしておきましょう。人から人へ感染が起こりやすいため、患者との接触を避けることが予防になります。周囲の発生状況や症状から水痘が疑われるときは医療機関に相談し、受診する場合は、他への感染防止のため受診方法について指示をもらうようにしましょう。また、予防接種は任意の接種となりますので、かかりつけの医療機関へご相談ください。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課